

令和8年度提案公募型委託事業採択一覧

採択数8団体 応募数14団体

| 団体名 | 提案事業名 | 企画内容 | 委託金額限度額 |
|---------------------------------|--------------------------------------|--|---------|
| 株式会社 From Earth Kids | ポイ捨て禁止啓発！ゴミ箱アートプロジェクト | <p>大東市におけるポイ捨て問題の解決に向けて、子どもが主体となり、啓発用ゴミ箱の【企画・デザイン・制作・設置】までを一貫して行う【体験型事業】を実施する。</p> <p>単なる「注意喚起」や「禁止表示」による啓発にとどまらず、子供たち自身が「人はなぜポイ捨てをするのか」「どのような工夫があればゴミ箱を使いたくなるのか」を考え、形にすることで市民の行動変容を促すとともに、公共マナーや環境美化に対する【当事者意識】を育むことを目指す。</p> <p>また、本事業を通じて、子供たちが「自分たちの行動が街を変える」という実感を得ることで、将来にわたる主体的な市民意識の醸成につなげる。</p> <p>＜事業の流れ＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題認識ワークショップの実施 2. 啓発ゴミ箱の企画・デザイン検討 3. ゴミ箱アート作成 4. 公共空間へ設置およびお披露目 5. 効果検証・ふりかえり | 300,000 |
| NPO法人北河内をぐつと盛り上げる会 | 旭堂一海と学ぶ「だいたい歴史ものがたり」～はじめの七席～デジタル活用事業 | <p>市制施行70周年を見据え、大東市の歴史的資産を次世代へ継承するとともに、シビックプライド（郷土愛）の醸成と地域活性化を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 郷土愛の醸成とシビックプライドの向上 専門家による質の高い歴史考察を講談師のナビゲートという親しみやすい形式で発信し、市民が「わがまち大東」の成り立ちに誇りを持てる機会を創出する。 2. 歴史資源のデジタルアーカイブ化と学習環境の整備 専門家の知見を短編動画（各5分）として記録・集約し、QRコードや専門サイトを通じて「いつでも・どこでも」学べる教育・観光インフラを構築する。 3. 地域ブランディングと活性化 飯盛城跡をはじめとする歴史資源をコンテンツ化し、市外へ魅力発信（観光誘客）および学校教育における郷土学習の充実を図る。 <p>旭堂一海と学ぶ「だいたい歴史ものがたり」～はじめの七席～デジタル活用事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①映像コンテンツ制作「旭堂一海と学ぶ「だいたい歴史ものがたり」～はじめの七席～」 ②市制70周年記念「専門家から見た大東市（仮）」 ③専用WEBサイトの制作 ④多角的な普及啓発活動 パンフレット発行 ⑤公開お披露目会の開催 | 300,000 |
| 野崎参道商店街振興組合 | のぞ参まつり | <p>日常的な客足が減り、商店街の活気がなくなりつつある昨今、継続的なイベントを開催することにより賑わいを創出し、老若男女問わずすべての地域住民が自分たちの住むまちを誇りに思い、新たな活力を生み出すことでまちの活性化に寄与する。</p> <p>事業名：のぞ参まつり 開催日：令和8年10月4日（日）午前10時～午後5時 主催者：野崎参道商店街振興組合 会場：野崎参道商店街前府道一帯（歩行者天国、車両等進入禁止） 参加人数：延べ1000人規模 警備体制：警備会社と一部ボランティア団体と連携 広報関係：市報へ掲載、SNSでの拡散、ポスター、チラシ配布（駅等への掲示） 事業内容：キッチンカーの出店、マルシェ販売、子供向け縁日、大道芸、忍者、マジックショーや歌謡ショーの実演</p> | 300,000 |
| SHA-NA-NA Entertainment Theater | ☆世代を超えて笑顔でつながるエンタメ☆ | <p>「まるでエンタメ劇場に来ているような時間をお届けしたい！」をコンセプトに、歌・ダンスパフォーマンスSHOW、オリンピック種目にも採用されたプレイキンバトル、のど自慢大会を開催し、未来のパフォーマー、シンガー、アイドル、エンターテイナーを発掘。</p> <p>見ている方にワクワクを感じてもらい、大東市を笑顔あふれる元気な街にする。</p> <p>開催時期：令和8年11月ごろ 入場料：無料 出演者：市内、市外から募り、より多くの人が大東市に訪れ親しみ、楽しむ場を提供する</p> <p>披露する演目： ①高齢者のみのダンスチーム ②プレイキングバトル ③のど自慢 まちうたステージ（仮称） ④ダンスSHOWケース</p> | 300,000 |

| | | | |
|-------------------|---|---|---------|
| 一般社団法人ウタのタネ | 大東市民と被災地・能登をつなぐ 市民参加型チャリティコンサート(Sing with NOTO in 大東) | <p>大東市民と被災地・能登をつなぐ市民参加型チャリティコンサートを実施することで、市民が地域社会の一員として主体的に参画する機会を創出するとともに、防災意識および社会的関心の向上を図る。</p> <p>シンガーグループhuman noteが企画・運営する市民参加型チャリティコンサートで市内で活動する合唱団・ダンス・太鼓等の地域団体および一般市民が出演者として参加し、鑑賞にとどまらない「表現する側」としての市民参画を促す。</p> <p>開催日：令和8年9月20日(日)キラリエホール 令和8年10月11日(日)輪島マリンタウン</p> <p>当日集まった募金は輪島マリンタウンのイベント運営費および被災地・能登地域への支援に充てる。</p> | 300,000 |
| だいたう音楽祭JAZZ 実行委員会 | だいたう音楽祭JAZZ | <p>「ジャズはハードルが高い」「音楽は一部の愛好家のもの」という既存概念を打ち破ることを目的とし、子どもからお年寄りまで誰もが「本物の音楽」を五感で楽しみ、笑顔になれる場を創出します。</p> <p>開催日時：令和8年5月31日(日) 会場：アクティブスクエア大東 内容：①プロのミュージシャンによるJAZZなどのライブ(有料) ②地域団体による演奏ステージ(学生プラスバンドなど) ③キッチンカーによる飲食スペース ④音楽祭に合わせたマルシェスペース ⑤子ども向けの縁日コーナーや遊び場</p> | 300,000 |
| 一般社団法人モノクロ | 子ども屋台チャレンジ事業(年間を通じた学びと実践による体験型学習) | <p>子ども・若者世代に対して「屋台出店」という挑戦の場を用意し、子ども達が学校外でも企画・準備・運営・振り返りを体験する。これらを通じて子ども本人の成長に加え、モノ市という公開の場で来場者と接し、反応を受け取って改善につなげる体験の質を高めていく。</p> <p>対象者：小学生～中学生10名～最大20名(最大6チームを想定) チームごとに分かれ、各チームでひとつのポップアップ屋台の運営を目指す 進め方：「座学→小さな実践→振り返り」を年間で繰り返し、最終的にモノ市で出店・発表 内容：①チーム編成 ②企画立案 ③試作・テスト ④小さな実践 ⑤改善と運営訓練 ⑥モノ市出店と収支・フィードバックの整理</p> | 300,000 |
| 「Zibuかふえ」実行委員会 | 「自分らしさ」について語り合う集いの場「Zibu(じぶ)かふえ」 | <p>「Zibuかふえ」は、人生の最終段階について事前に話し合うACP(人生会議)の普及を目的とした事業である。現代社会では、死がタブー視され、核家族化や孤立化により人とのつながりが希薄になり、ACPの認知度が低い現状がある。</p> <p>本事業は、カフェ形式で提供し、和やかな雰囲気の中で「死」や「老い」といった話題のハードルを下げている。看護師などの専門職が常駐し、医療や介護の相談に応じながら、参加者が「自分らしさ」や「生と死」について気軽に話し合える場を提供し、いざという時に後悔なく判断・選択ができるよう支援する。</p> <p>地域でのコミュニケーションを促し、家族が「もっとこうすればよかった」という後悔の気持ちを減らしつつ、きめ細やかなニーズに対応し、ACP啓発のモデルケースとなることを目指す。</p> <p>活動計画：月に1回開催 ①グループセッション形式6回、1回につき2時間程度 1回に参加できる人数は10名程度(申込が必要) ターゲットは18歳以上で自身や親のこれからを考えたい方 5名程度のグループに分かれてグループセッション ②フリーディスカッション形式6回、1回につき4時間程度の枠を設ける 申込不要、看護師や介護職員が相談に応じる ターゲットは親の介護や自身の老後について不安を感じている方、グループ数や構成人数は不問</p> | 300,000 |